

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2013 年 7 月号 (第 63 号)

発行責任者 薄井 文子



航空公園のサルビア

撮影：長岡 慶一

《サークル訪問記》

「倶楽部」はみんなのパイプ役！

会長 薄井文子

6 月の梅雨空にも負けず、私と理事 2 名で、15 日に「歴史散策クラブ」の“武蔵野 33 観音巡り”に参加し、25 日に「地域の自然を考える会」の室内での会合に出席させていただきました。皆さんから率直な意見を伺うことができました。そして、今秋 10 月 13 日には「地域の祭り研究会」の協力で、秩父吉田の“龍勢祭り見学会”が予定されていますが、その見学会参加を最後にすべてのサークルの訪問を終了いたします。

昨年 11 月のところざわ倶楽部総会において、各サークル活動をより一層サポートしていくために倶楽部として何をしていけば良いのか？の問いに対して、まずは現場（サークル活動）を知ることが第一とお答えいたしました。理事会が率先して各サークルを訪問することで、倶楽部への思いやご要望など、生の声を会員の皆さんから直接お聞きできるかもしれないと考えました。

理事の皆さんもそれぞれのご都合に合わせて一緒に訪問いたしました。

初めは何を探りにくるのかな？などと緊張されたこともありましたが、訪問を重ねるうちに皆さんが笑顔で迎えてくださり、あたかもサークルの

一員のように溶け込み、楽しくなってきました。

里山管理の地道な作業やテーマの熱心な討論にも出合いました。知り合いも沢山増えました。

それぞれのサークル活動の先には、地域に少しでも貢献したい、仲間同士で刺激しあって元気で生き活きと豊かな人生を送りたいなど思いは同じです。会員の皆さんは底力を秘めたすばらしい方ばかりで、知識と活動力に満ちています。

すべてのサークルの訪問終了を前にして、大勢の会員の方々の「元気な笑顔」が心に強く残っています。そして倶楽部と各サークルとの連携を強め、またサークル間の理解を深めるためにも、この「サークル訪問」は有益だったように思います。事業を共催するときだけでなく、普段から理事会とサークルの意思疎通を滑らかにすることはとても大切に思います。そして会員の皆さんの「共有の財産」として「ところざわ倶楽部」がさらに大きく成長することを願っています。

これからの時期は暑さも一段と厳しくなります。皆様、オーバーワークになりませんように、健康に十分ご配慮いただいて、楽しく、切磋琢磨して活動を続けていきましょう！

公開古典講座「現代に生きる松尾芭蕉」 好評開催中！

葵の会 池田 新八郎

ところざわ倶楽部主催の、川上義正先生による公開古典講座「現代に生きる松尾芭蕉」が、6月10日（月）から、生涯学習推進センターにおいてスタートしました。



4回の連続講座であり、教室の確保が危惧されましたが、生涯学習推進センターの協力により開催にこぎつけました。

また、ところざわ倶楽部初の公開講座という事で、参加人員が危惧されていましたが、募集を開始した5月10日頃より問い合わせ、申し込みが多数あり、5月25日頃には80名の定員をオーバーしていました。最終的に130人ほどの申し込みがありましたが、会員63名、一般31名、計94名の定員を超える受講者を受け付けました。うれしい誤算でしたが、熱心な参加希望者が多く、お断りするが大変でした。この紙面を借りて改めてお詫び申し上げます。

講義は、川上先生が作製された資料「抜き読みおくの細道」を基に進められ、第1回目は「月日は百代の過客にして、行きかう年もまた旅人なり……」で有名な「旅立ち」の章であり、6月17日の第2回目は芭蕉憧れの地「松島」「瑞巖寺」「平

泉」の章でした。芭蕉もまた人であり、江戸期にあつて先人の西行や兼好を尊敬し、旅の途上、栄華を極めた平泉藤原三代、義経に殉じて果てた武将達の悲劇を回顧、「夏草や兵どもが夢の跡」と詠み涙にくれました。



川上先生の講義は脱線あり、西鶴、近松門左衛門、芭蕉等を生み出した元禄文化、歴史を語り、幅広く、ユーモラスで受講者を飽きさせません。

受講者は市民大学6期をまたぐ倶楽部会員、俳句ファン、「名作を楽しむ会」（山口公民館）の人達、そしてこれから俳句を学びたいという方、種々雑多であるが熱心に耳を傾けています。

7月に残り2回開催いたします。

平成 25 年 6 月理事会報告

総務部 森下 尚洋

6月理事会は10日(月)に開催された。

1. 会長案件

- (1) 文化祭に関し協力のお礼と感謝の挨拶
- (2) 20期市民大学受講生に対する倶楽部説明会を、7月9日(火)に開催予定
- (3) 未訪問サークルあと4サークルの訪問予定
- (4) 文化祭に出演、出品された方へのお礼状の用意。配布を各理事に依頼

2. 総務部案件

- (1) 会計予算の中間報告
- (2) 第7期サークル代表理事の人選依頼
- (3) とろろ荘に倶楽部役員会で登録申請してあるので利用が可能であることの報告
- (4) 文化祭の反省会6月24日、12時より徳樹庵で開催

3. 事業部案件

- (1) 文化祭の総括
- (2) 古典講座、6月、7月で4回開催。93名の参加者あり
- (3) 7月24日、新所沢東公民館で映画会開催
- (4) 10月バス旅行、来月理事会で人数確定
- (5) 芋煮会の開催については来月理事会までに事業部で検討

4. 広報部案件

- (1) 「広場」6月号内容紹介
- (2) 「広場」7月号編成内容

5. その他

- (1) 「とことこバンド」8月23日、ライブ予定。理事会の暑気払い予定
- (2) 生涯学習につき、市議会で質問予定あり。関心を持つとの意見あり

サークル活動レポート

《 傍聴席 》

所沢市の生涯学習

阪口 義男

一傍聴者の視点 …… 市議会を傍聴しながら考えたこと

6 月の市議会、M議員の一般質問通告書に「生涯学習：市民大学等類似組織の再編について」という項目が含まれていた。かつて市民大学の企画・運営に関わった一人として関心を持って聴いた。

はじめに

市は「市民大学」・「高齢者大学」・「生涯学習をすすめる所沢市民会議」の三事業の概要を説明したが、管轄が教育委員会（生涯学習推進センター）と福祉部（高齢者支援課）に分かれ、市の生涯学習に対する統一的な考えがはっきりしなかった。ただ市の答弁を聴くと、このうちの「市民会議」の活動に課題が見える。

市民会議とは

市民会議は1996年に置かれ、その目的は「市民が主体で、市と連携し所沢市の生涯学習を普及、推進すること」だが「生涯学習推進センター」が出来て4年が経ち、市民会議はその目的・役割を問われているようだ。高齢者大学は友達作りと健康年齢の維持にあると聞こえた。

市民大学

私の知る市民大学は1993年開設、修了生2500名以

上。旧学習センター（元の青年の家）が本拠の頃の定員は150人。職員配置や環境整備は決して十分でなか。見える市民参加と大学の充実が県北本庄市の関係者などの知るところとなって、大勢の方が講義やグループワークの現場を見学に来られた。その市民大学の一層の充実を主目的に生涯学習推進センターを作った。施設は立派になったが、今の募集人員80人はなんとももの足りない。

「生涯学習推進センター」に期待する

高齢化が進む中、まちには定年や子育てを終えて地域に回帰する人・地域に関心を持つ人が増え、そこに学びを求める人が大勢いる。学びを終え、学びを地域に活かし、コミュニティを作る場として「ところざわ倶楽部」がある。センターは終了者の支援に後ろ向きだが、生涯学習を謳うのであれば、修了者の活動を知り、それをサポートしていくべきだろう。問題は、再編よりも、市民大学になかなか入れない事。生涯学習推進センターにはもっと頑張ってもらいたい。

《 地域の自然を考える会 》

本年度のサークル活動

広沢 正巳

◆平成25年度我々は、下記の目的、計画に基づき、地域に根ざし、自然に親しみつつ活動を続けています！

【活動目的】

- ・ 地域に根ざした自然の保存活動に積極的に参加する。
- ・ 地域の自然に親しみ、山野草の観察会、探鳥会を行い、動植物の理解を深める。
- ・ 会員相互の親睦を深める

【活動計画】① 定例会（毎月第4火曜日）トトロの森12号地の管理作業 ② 糎谷八幡湿地保存会活動に参加（米づくり体験） ③ 早稲田大学WAVOC活動への参加

▼活動作業（6月までは作業済み、7月からは作業予定）

2 月	3 月	4 月
12 号地の管理作業	12 号地の管理作業	12 号地の管理作業 糎谷八幡湿地 荒越し
5 月	6 月	7 月
12 号地の管理作業	12 号地の管理作業	12 号地の管理作業
糎谷八幡湿地 田植え	糎谷八幡湿地 草刈り 早大外来植物除去作業	糎谷八幡湿地 草刈り
8 月	9 月	10 月
12 号地の管理作業	12 号地の管理作業 糎谷八幡湿地 稲刈り	12 号地の管理作業 早稲田大学 稲刈り
11 月	12 月	同大常緑樹の伐採作業
12 号地の管理作業	12 号地の管理作業	糎谷八幡湿地収穫作業
糎谷八幡湿地（餅つき）	糎谷八幡湿地下草刈り及び早稲田大学ヨシ刈り	

▼トトロの森12号地管理作業



アンケート調査から見た第2回文化祭

総務部 森下 尚洋

5月31日（金）、第2回ところざわ倶楽部の文化祭が中央公民館ホールで開催された。昨年の8月開催が暑いとの反省から5月開催に変更した結果か来場者も200名を超す盛況であった。

今年度は新たに展示部門を設けたが、当初、出品者がいるか心配された。しかし、結果は、14部門、出品者42人、73点の作品が展示された。演芸部門では、8つの演芸、総出演者49人（飛び入りは含めず）であった。

文化祭の評価についてアンケート結果からみてみよう。

文化祭の全体の評価について「良かった」と答えた人の割合は、85.0%、ステージは如何でしたかの質問に対し、「楽しかった」と答えた人の割合は、81.5%、展示部門では「良かった」と答えた人の割合は、74.0%といずれも高い評価を得た。

自由意見欄からの主な感想を見ると演芸部門では、



次のような意見がみられ、中には「とても楽しめました。関係者にお疲れ様を伝えたい」とのお礼の感想もあった。

- ① 充分楽しめ、多種の演目にそれぞれ熱が感じられた。来てよかった。気分よく帰れます。
- ② とことこバンドは素敵。プロ級のムード。もっと楽器演奏が聴きたかった。
- ③ 民話が特によかった。

- ④ コーラスのハーモニーは素晴らしかった。次回が楽しみです。
- ⑤ 所沢音頭、炭坑節、飛び入り、よい企画。楽しめました。



展示部門では次のような意見があった。

- ① 作品の出展者数が少ない。物足りない。もっと出品できる方がいるのでは。
- ② 展示品、力作が多く感心した。
- ③ 出品者を数名出させて適度に説明、解説をしたほうがよい。

アンケート結果からは概ね高い評価をいただいているが、運営面からみると次のような課題も残る。

- ① 予算化されていないため、出演に当たりサークルによっては、経済的負担があった。
- ② 当日の役割分担、指揮命令系統が不明確で準備に混乱がみられた。
- ③ 文化祭実行員会的な組織が設立されず、準備、企画段階で組織的な対応ができなかった。
- ④ 文化祭のPRをどこまで行か。文化祭目的の再認識。

大きな混乱もなく、概ね盛況のうちに終了したが、これは文化祭にかける薄井会長の想い、熱意が関係者に通じた結果であろう。

<7月事業告知>



映画上映会 — 映像で見る昭和の所沢 —

日時：平成25年 7月24日（水）

開 場：9時30分

場所：新所沢東公民館 1F 講堂

上映開始：9時45分

第1部：映画「はだかっ子」上映

第2部：講演「所沢の街今昔」

主催：ところざわ倶楽部 協力：懐かしの映画・鑑賞会

問い合わせ先：二上（04-2998-1958）

第 2 回 文 化 祭 に 出 展 し て

面打ちとの出会い（趣味をゲット） 多胡 國男

仕事一筋？無趣味では定年後どのような生活を送れば良いのだろうかと考えていた、定年迄5年を切った頃、職場の後輩から面打ち同好会設立説明会の話を持ちかけられ、義理と人情でとりあえず説明会へ参加しました。話を聞くうちに基本を学べば定年後一人でも面打ちを趣味とすることが出来るのではないかと、プロを目指すのではない、との気楽な気持ちで同好会への参加が面打ちとの出会いです。

現在は、昔の同好会仲間と、更に市民大学修了者等との繋がりを大切に、“楽しく、明るく”をモットーに週1回のペースで同好会を開催しています。ご希望の方はご参加ください。



花に魅せられて

柏 茂子

花に魅せられて十数年、花は喜びのときも、悲しみのときも、優しく心を癒してくれます。枝や葉が持つわずかな曲りや表情に手を加えて変えることにより、私が理想とした表現をさらに高められたときは喜びを感じます。

この度の文化祭への出展に際し、その空間をいかに立体的に素材を変化させて作品を観ていただけるかととても迷い、器は直ぐに決まりましたが、素材は勿論のこと配色をいかにするか、時間との闘いで緊張で一杯でした。

今は生け花の他フラワーアレンジ、ブライダルブーケ、最近では姪に誘われてブリザードフラワーも始めました。[はな] [花] [華]を楽しんでいます。



素朴な微笑

渡邊 晴雄

この作品は、私が以前中国で植林活動を行っていた時、江西省共青城市の僻村（村の名称は不明）で

撮影出来た写真です。

共青城市は、親日家で天安門事件の時に学生を擁護して失脚した胡耀邦終焉の地であります。その日は胡耀邦の墓に先ず献花しました。

植林の活動の行事を終えてホテルへの帰路、小休止を取るため、ある小さな村の広場に車を止めました。広場では市（いち）が開かれていて人々が集まり結構賑やかでした。

その村では我々が最初に訪ねた日本人だったそうですが、村人たちは全員穏やかな笑顔で迎えてくれました。

そこへ大きな荷物を担いだ老夫婦が、ゆっくりと近づいてきました。

二人とも顔を見ただけで、「幸福感」が味わえるような穏やかな笑顔を我々に向けてくれました。聞けば、そのまた山奥から暫くぶりに買い出しに来たとの事。

無我夢中で数枚、立て続けにシャッターを切りました。自分でもその時のイメージが表現出来たと思っています。



刻字「無常迅速」

曾部 康子

作り方ですが、板の大きさに合わせた紙を用意し、どんな文字で表現していくか考えます。書稿が出来あがらない苦しみは大変です。

しかし、決まればその後はノミと木槌で一気に刻していきます。自書自刻の作品を完成させるのは楽しいものです。

作品の「無常迅速」は、「人生あっという間に過ぎてしまう」「時間を無駄にしないように」という意味です。難解な禅語でも、その意味を知れば味わい深いものになります。「無常迅速」は、各世代や個人によって心に響く「感じ方」は様々でしょう。



市民大学は今 20 期

「20期グループワーク、只今奮闘中」

20 期企画委員 小川 雅愛

2 年次グループ ワークは早や3 か月、もはや最終ゴールに向かってひた走るだけの時期になりました。

7 講座の現況や活動を簡単に記します。

★日本の農業

地域の農業観察等々、農園を造るシステム研究の方向。

★日本の芸能

能の出前講座等々、能面美術館訪問。

★地方自治

出前講座 2 回等々、高齢者の支援に収束方向。

★音楽

オペラやミュージカル鑑賞、アンケート調査等。

★脳の科学

認知症に関する研究、出前講座等。

★放射線の科学

1 年次講座を深化させる方向。

★所沢市史 少し丁寧に紹介します。

所沢の地場産業の歴史を取り上げることにしました。しかも、養蚕業と所沢織物、製茶業（狭山茶）、所沢人形の 3 班に分け、それぞれの歴史を学んでいます。研究会出席、博物館・資料館・文書館・神社・協会訪問、茶園・養蚕農家・人形制作店へのフィールドワーク、茶摘み体験など外部訪問 13 件以上、織物工場見学も計画中です。頑張っておられる農家や茶園、人形店で



は忙しいなか、親切、丁寧に取材に応じていただき、一般的なテーマながらこれを選択して良かったと思う反面、3 班の情報を収められるか不安も抱えています。

20 期の動向

①「パワーポイント講習会」を受講生 2 名が講師になり 7 月 23 日に開催します。1 年次の「5 名の受講生による課外授業」に続く、20 期受講生の自主運営の新たな試み第 2 弾となります。

②22 期の企画委員候補を受講生の自主性を重んじ公募方式優先に。市民大学の発展のために、より積極的な運営がなされるようお願いを込めた新たな試みです。

市民大学は今 21 期

21 期 開校式を迎えて

21 期企画委員 安藤 俊建

6 月 6 日梅雨入りしたとは思えない好天に恵まれ、第 21 期所沢市民大学が開講しました。今年は定員 80 名に対して約 2 倍もの多くの申込者から、抽選で勝ち抜いた？人達は、受付時間前からどんどんと早い出足です。晴れがましくも緊張した雰囲気の中で、開講式が始まりました。

はじめに、所沢市教育委員会の教育総務部次長の齋藤雅裕氏から挨拶を頂きました。市民大学が 21 年前にスタートしてから、旧並木小学校を改修し生涯学習推進センターとして開校するまでの経緯の説明があり、「この 2 年間を通して、市民大学の 3 つの理念を目指すとともに、大いに楽しく学んで頂きたい。」と述べられました。

続いて、第 21 期企画委員会の渡邊委員長から「第



19 期市民大学の終了後に就任した企画委員全員で、開講に向け準備をしてきた。今後は受講生による自主運営が基本の大学生活の手助けをしながら、一緒に学んで行きたい」との挨拶がありました。

開講式に引き続き、リハーサルもして準備してきた、企画委員によるオリエンテーションが行われました。説明前、緊張し続けている受講生に、立ち上がったの簡単なストレッチ体操は、受講生のリラックス感と微笑みを引き出し、効果的でした。引き続き、プロジェクターと市民大学ガイドに基づいて大学での諸活動に必要な内容が説明されました。

その後、10 人ずつ 8 つのグループに分かれて、恒例の自己紹介・リーダー等の役割分担などを話し合う最初のグループミーティングが行われましたが、どのグループも女性の人数が 3 ～ 4 人と少ない編成となりました。

講義は 13 日から、近藤先生による「古典芸能」を皮切りに順調にスタートしました。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

アジア研究会 (小椋雄二 2921-7739) 7 月定例会：7 月 17 日(水) 中央公民館 8、9 号学習室 13:30～16:30 DVD 観賞予定 8 月定例会：日時場所演目未定 決定次第連絡	葵の会 (池田新八郎 2940-0711) 7 月 8 日(月) 公開古典講座「現代に生きる芭蕉」 生涯学習推進センター 201 教室 13:30～15:30 7 月 11 日(木) 13:30～16:00 中央公民館 6 号 古典講座「古事記」第 7 回「続・海幸・山幸」
公園を楽しむ会 (渡部正俊 2921-3014) 8 月 22 日(木) 定例会と暑気払いを予定	楽悠クラブ (甲田和巳 事前連絡は不要) 7 月 9 日(火) 13:30～17:00 中央公民館 #8・9 歌劇「魔弾の射手」(ウェバー作曲)DVD 鑑賞 8 月 12 日(月) 13:30～17:00 中央公民館 #8・9 歌劇「モーゼとファラオ」(ロッシーニ)DVD 鑑賞
地域の自然を考える会 (広沢正巳 2939-9181) 7 月 13 日(土) 糍谷八幡湿地 草取り 7 月 23 日(火) トトロの森 12 号地管理作業 7 月 27 日(土) 糍谷八幡湿地 草取り 8 月 27 日(火) トトロの森 12 号地管理作業	地域の自然 (多胡國男 2993-6143) 7 月 13 日(土) 09:00～ 樹木調査等 場所：さいたま緑の森博物館調査地 7 月 27 日(土) 09:00～ 常緑樹伐採等 場所：早大 B 地区調査地
地球環境に学ぶ (塚本二郎 2942-3117) 7 月 16 日(火) 定例会 新所沢東公民館 9:00～11:00 各自の研究課題の発表ほか情報交換 ※今回から開催時間を 9:00～11:00 とします。 8 月は夏休みとし、次回は 9 月 17 日(火)です。	地域の祭り研究会 (加藤敏恭 2923-5263) 7 月 予定なし 8 月 15 日(木) 寒川神社薪能 見学
野老澤の歴史を楽しむ会 (戸田チ子 2995-0133) 7 月 22 日(月) ほうろく灸 法華寺 8 月 1 日(木) 渡辺隆喜先生を囲む座談会 15:00～ 場所は未定	所沢の自然と農業 (清水仁一 2944-8835) 7 月 11 日(木) 13:00～ 定例会 新所沢公民館 7 月下旬 新所沢 UR 団地マルシェ支援 8 月 11 日(木) 13:00～ 定例会 新所沢公民館 ※8 月の実活動は有りません (夏休み)
懐かしの映画・鑑賞会 (二上拓夫 080-1250-6151) 7 月 9 日(火) 10:00～12:30 西新井町公民館 ■「男はつらいよ」第 1 作(69 年) 光本幸子・志村喬他 7 月 24 日(水) 9:45～12:30 新所東公民館 ■「はだかっ子」(61 年) 有馬稲子・木暮実千代・三國他	ドラマティック・カンパニー (八木雅子 2995-0148) 7 月 27(土) 10:00～11:30 *終了後暑気払い 8 月はお休み 『トロイアの女たち』を読み進めるとともに、実際に朗読を行います。会場：新所沢東公民館
傍聴席 (高垣輝雄 2926-7164) 7 月 8 日(月) 定例会 14:00～ 新所沢東公民館 市の教育委員会にお願いして出前講座です。 教育については案外知っているようで知らない事が多い。改めて所沢の教育について学びましょう。	北欧の会 (樋口俊夫 090-6483-7993) 8 月 休会 9 月 28 日(土) 第 42 回例会 13:20～ 高齢者福祉について 私たちの認知症など 場所：新所沢東公民館
歴史散策クラブ (大河原功 2943-2004) 7 月 12 日(金) 民話朗読発表会と紙芝居 集合：新所沢東公民館 9:30～ 8 月 9 日(金) 県政出前講座「埼玉古墳群の史跡整備」& 暑気払い 場所：中央公民館 10:00～	民話の会 (仲山富夫 2948-9255) 7 月 26 日(金) 民話由来地めぐり 持明院～柳瀬川(秋津曼荼羅淵)～日月神社他 8 月 23 日(金) 勉強会(三ヶ島地域の民話) 中央公民館
歴史を楽しむ野老会 (居田治 2903-8400) 8 月 23 日(金) 午前中：門内顧問による座学、 午後：昼食・懇親会 9 月 20 日(金) バスで行く長瀨・秋の七草寺めぐり	

【私の健康法】

《野老澤の歴史を楽しむ会》 佐藤 八郎

「一日一日を大切に生きるということ」

この度「私の健康法」と題して原稿依頼があり、十数年前から四臓四腑となっている身としては、これは編集者の悪い冗談だろうと思いつつ若干述べてみたい。

1年以上の生存率 20%と告げられた時ショックは受けたが、原因は酒ではなくストレスであるとの主治医の説明は救いであった。余後は酒が飲めるようになるとの一言を信じての一步一步であった。幸い薬は服用せずビタミンCを十分摂るようにとのアドバイスを守り、今迄にグレープフルーツを2千個超も食べているので今や触っただけで出来を判断できる。

赤ワインを一滴味わった時の感激から始まり、それなりに嗜めるようになったのは望外の喜びである。

処で食事は20分ゆっくり噛みながら食べるようにしている。良く噛むことで小腸への負担が少なくなるので殊更大事であり、命を守るキーワードの一つでもある。

扱て、ストレスを避けるには二つの方法を取っている。

① 一つはジャーナル・ライティングである。

21世紀の初日の出を病院のベットから眺め書き始めた5年日記は3冊目に入っている。その日にあった種々を何でも思い切り書き始めると気分がスッキリし熟睡できること請け合いである。

② もう一つは好きなことだけをやり、嫌なことはやらないし、近づかないようにしていることである。

お陰様で倶楽部のサークル活動はもとより、休耕畑を利用しての農業活動、トトロのふるさと基金の里山管理活動、更に文学仲間との交友等楽しく面白く充実した時間を過ごしている。

お付き合いをお願いしている皆様に深謝！

編集後記

▼「理事によるサークル訪問」は、5つのサークルに参加した。いずれも会員の方々に温かく迎えていただき感謝している。皆様の熱心で楽しい活動から、日々の充実した暮らしを彷彿させるものがあり、見習うべきところが多かった。会員の方達とお話していると、その人柄の良さからそのサークルを好きになってしまい、訪問を終えてみると結局2つのサークルに入会していた。初めて出会った方達が多く今後の活動が楽しみである。

▼「広場」5月号の表紙写真「所沢市茶園」は長岡慶一氏が撮影したものである。氏は今期の編集委員になるまで花の名前といえば、赤い花はチューリップ、黄色は向日葵、白は・・・程度だったとい

星涼し秩父連山闇の中
薄暑かな秩父歌舞伎をみてかへる
目があへばついとよそ向く目高かな
歌舞伎座の幕が下りるや虎が雨
うるむ目で仰ぎし頃よ夏の星
初めての夫の故郷夏の星
六月の花嫁八重歯のぞかせて
中天に赤き光の夏の星
千年を超えて茂りの鉄炉跡
お天気に一喜一憂麦を刈る

鈴木 征子
高橋三加子
高 光 泉
利根川啓一
中嶋 弘子
中村 直子
橋本 佑子
平栗 彰子
荒幡千鶴子
飯泉 陽子

尾道に偲ぶ人あり虎が雨
友垣の自然農法星涼し
黒々とほだかる富士や夏の星
肝試し誰も気づかぬ夏の星
ハバロフスク三万尺の星涼し
池の水太藪(ふとゑ)まはりて流れけり
御巢鷹の闇の深さや夏の星
連想の迷路に遊ぶ夏の星
山小屋に夏の星座の被(かうぶ)り来
征子庵当分休み虎が雨

井出 昇
海老澤愛多助
粕谷のぼる
河瀬 俊彦
小林 貞夫
小林 典子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
岡本詔一郎



むさし野俳句会（二十五年六月）作品抄



うが、ところざわ倶楽部ホームページの「投稿欄」には、氏が撮影した花の写真が数多く載っている。早春の蠟梅、福寿草に始まり、猫柳、木蓮、辛夷、枝垂桜、ミツバツツジ、花桃、ハナミズキ、著莪、牡丹、藤、霧島つつじ、ユリの木、ユッカ、西洋しゃくなげ、カナメモチ、麦畑、桑畑、蕎麦畑、紫陽花、クチナシ、最近では蛍袋、夏椿、泰山木がある。また、桜の季節には神奈川県松田町の河津桜、山梨県甲州市の大糸桜、岐阜県根尾谷の薄墨桜を追いかけ、山吹、ツツジを越谷に訪ねてもいる。▼氏の写真には優しい人柄そのものが写り込んでいるような気がする。上記には30ほどの花々が数えられるが、この半年程の氏の好奇心と努力には敬意を払わずにはいられない。

小林典子 記